

「節約主婦」の半数が感じている「節約疲れ」を解消するのは“スイーツ”
 ～「節約」に関する調査結果～

ジャストリサーチサービス株式会社(本社:東京都中央区)では、「節約」について2009年2月に1都3県に住む16-59才の男女計1085サンプルを対象に調査を実施いたしました。この度その調査結果がまとまりましたのでご案内させていただきます。

ジャストリサーチサービス株式会社では、毎月オリジナルモニターへ生活意識に関する調査を実施しています。2009年2月度は不況の嵐が吹き荒れる中、生活者の生活防衛の要、「節約」に関して調査を致しました。また、節約生活の中でも必ず訪れる消費ポイントを探るべく、どのようなことで“節約疲れを解消”しているのか、さらには“節約行動の意識”についてもフォーカスを当て調査を実施いたしました。以下、概要およびデータをご紹介します。

主な調査結果
 「節約」をしている既婚女性は82%
 節約の内容は「節電」「ポイント買い」「まとめ買い」「内食」
 節約をしている既婚女性の46%が「節約疲れ」を感じている
 「節約疲れ」の解消法は「スイーツ」、「たまの旅行で豪勢に」
 節約行動では単に安いものを選ぶのではなく、品質やサービス内容を吟味する「価値志向節約」が存在

【調査概要】 実施機関: ジャストリサーチサービス株式会社
 調査対象: 1都3県(東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県)に居住する16-59才男女計1085S
 (ジャストリサーチサービスオリジナルモニター)
 調査方法: インターネット調査
 実施時期: 2009年2月27日～3月2日

結果サマリーは別紙参照

「節約」をしている既婚女性は82% (1月実施調査から6ポイントアップ)
 既婚女性(n=613)のうち、「節約をしている」と答えたのは82%にのぼり(「している」(27%)+「まあしている」(55%))、もはや“節約するのは当たり前”の生活となっているものと思われる。
 同様の質問は1月度実施調査でもしており、その結果は既婚女性(n=687)のうち76%が「節約をしている」と答えており、1月から2月では6ポイントの上昇がみられた。

節約の内容は「節電」「ポイント買い」「まとめ買い」「内食」
 様々な「節約方法」に関し、実施有無をきいたところ、「こまめに電気を消す、暖房をつけないなど光熱費の出費を抑える」が既婚女性(n=500(節約をしている回答者ベース))では75%とトップ。ついで「買物はポイントがたまるところで

なるべくする」(73%)、「生活必需品は安い時にまとめ買いをする」(70%)、「外食を控え、なるべく自宅で食事を作ったり、お弁当を持参したりする」(69%)が70%前後で行われていることがわかった。生活防衛のための節約の知恵は「光熱費」「買物」「内食」において絞られている様子がうかがえる。

節約をしている既婚女性の46%が「節約疲れ」を感じている(1月実施調査から8ポイントアップ)
節約をしている既婚女性(n=500)のうち「節約疲れを感じる」と答えたのは46%と約半数(「感じる」(16%)+「まあ感じる」(30%))。
同様の質問は1月度実施調査でもしており、その結果は節約をしている既婚女性(n=524)のうち38%が「節約疲れを感じる」と答えており、1月から2月では8ポイントの上昇がみられた。

「節約疲れ」の解消法は「スイーツ」、「たまの旅行で豪勢に」
様々な「節約疲れの解消法」に関し、実施有無をきいたところ、「スイーツなど甘いものを食べる」が既婚女性(n=231(節約疲れを感じる回答者ベース))において55%でトップ。ついで「たまの旅行の際にはケチケチせずに良いホテルに泊ったり、おいしい料理を食べたり、お土産を購入したりする」(32%)であった。
最もあてはまる「節約疲れの解消法」でその頻度を聞いたところ、「スイーツでの解消」は週1回以上が65%、「旅行での豪遊」は4-6ヶ月に1回以下が73%。「手軽に節約を忘れて消費するのは“スイーツ”」ということがみてとれる。

節約行動では単に安いものを選ぶのではなく、価値を吟味して節約する「価値志向節約」が存在
節約行動についての2択質問では「節約」といっても、たんに安いモノやサービスを購入するのではなく、価値を下げず(むしろ上げて)、頻度を減らすなどして節約しようとする「価値志向」節約が(商品カテゴリーにより差はあるものの)確実に存在していることがわかった。

- ・「値引き後が高くても値引率の高いものを買う」48% VS 「節約のためにはじめから安いものを買う」52%
 - ・「旅行や遊びの頻度を減らし、その代わりに先では良いホテルに泊ったりおいしいものを食べる」57% VS
「旅行や遊びの頻度は減らさず旅費や宿泊代食事代などの費用を節約」43%
 - ・「衣類やバッグは少々高くても長持ちするものを買って、回数を減らして節約」67% VS
「衣類やバッグは長持ちしなくてもとにかく安いものを買うことで節約する」33%
 - ・「コンサートや映画に行く回数は減らしその代わりに良い席を取るなどして少し贅沢をする」35% VS
「コンサートや映画に行く回数は減らさず安売りチケットを購入したり、低料金の日に行き節約する」65%
- 出口の見えない不況の中、「節約」にあたっては、価値を吟味して購入にあたる「価値志向節約」が一層重視される傾向にあるように思われる。

ジャストリサーチサービスについて

マーケティングリサーチのプロフェッショナルとして課題解決のための最適なアプローチ方法をご提案します

企画、設計から報告書作成までのフルサービスはもちろん、「実査だけ」「集計だけ」でも可能です。

調査員を介したリアルリサーチ(CLT(会場調査)、店頭・街頭調査)を得意とするほか、外部機関と協力したWEB調査、グループインタビューも多数実施しています。いずれも経験豊富なスタッフ、調査員にお任せください。

また、紙ベースのデータ入力作業は、当社内のオペレーションセンターで実施しています。

【内容に関するお問合せ】 ジャストリサーチサービス株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川 2-20-7 TOKOHビル 6F

TEL: 03-3553-3737 E-mail: info@just-research.co.jp 担当: 大橋裕弥子



ジャストリサーチサービス株式会社
<http://www.just-research.co.jp>

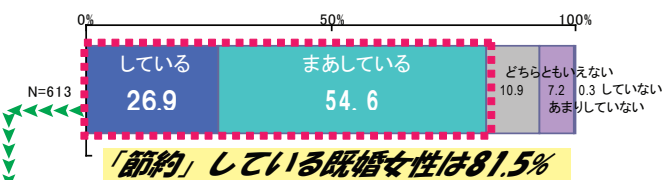
「節約主婦」の半数が感じている「節約疲れ」を解消するのは・・・“スイーツ”。

既婚女性の8割が「節約をしている」とこたえ、もはや節約するのは当たり前の生活となっているものと思われる。その「節約法」の中身は、知恵の勝負も問われる「節電」、たまったポイントで節約疲れの解消も見込める「ポイント買い」、「まとめ買い」、マイ弁づームなども見られる「内食」が70%前後で行われている。

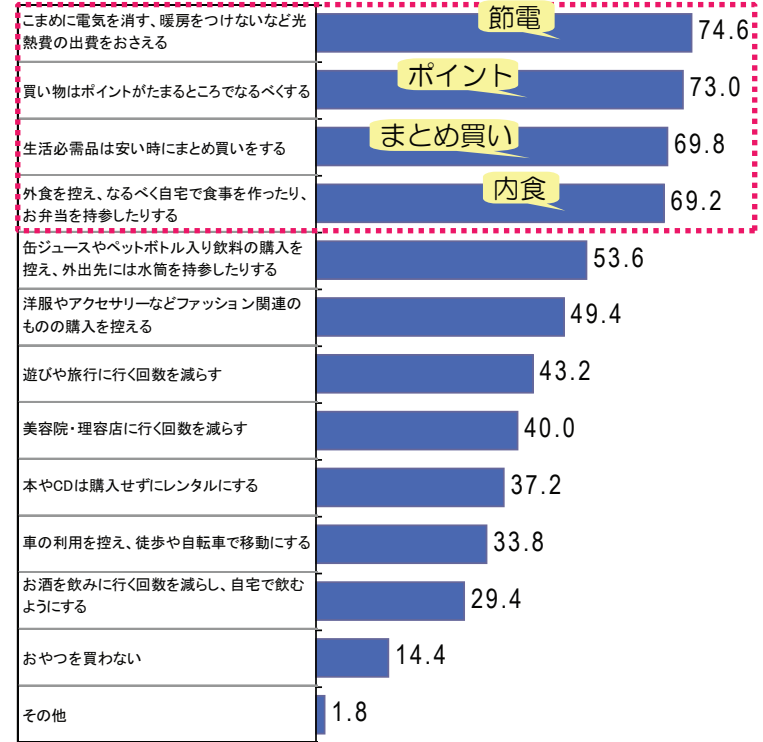
「節約をしている」既婚女性の約半数(46%)が「節約疲れ」を感じ、その解消法としては「甘いものを食べる」「たまの旅行では豪華に」があげられた。但し、その頻度には差があり、甘いものでの解消は週1回以上が65%、旅行での豪遊は4-6ヶ月に1回以下が73%で、手軽に節約を忘れて消費するのは「スイーツ」ということがみてとれる。

また、節約行動についての2択質問では「節約」といっても、たんに安いモノやサービスを購入するのではなく、価値を下げず(おしる上げて)、頻度を減らすなどして節約しようとする「価値志向」節約が(商品カテゴリーにより差はあるものの)確実に存在。特に「衣類・バッグ」では67%が価値志向であった。

Q.あなたは「節約」していますか？

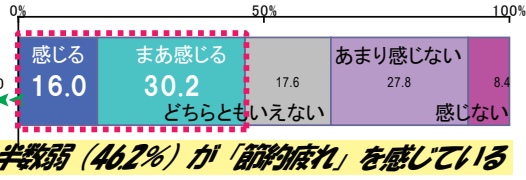


Q.あなたはどんな「節約」していますか？

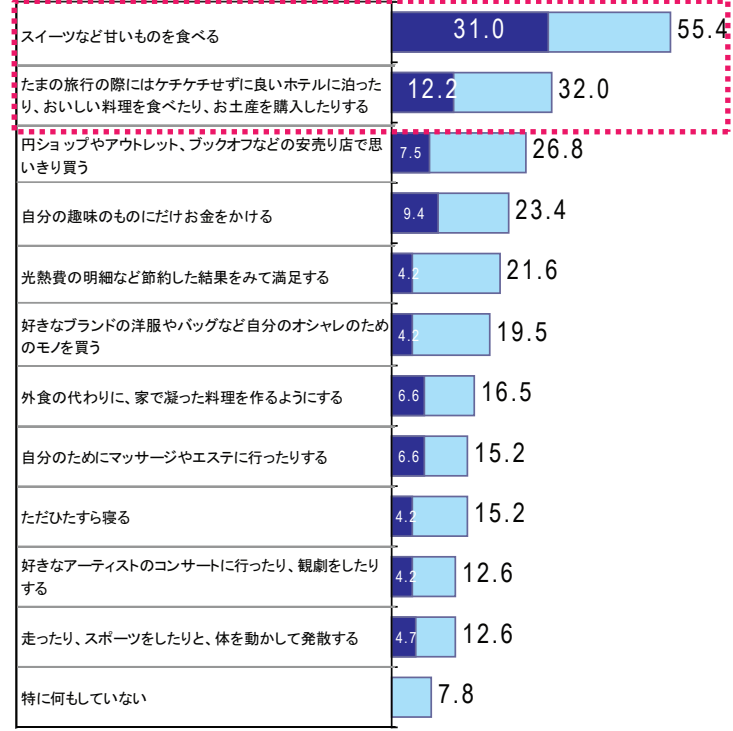


※2009年1月度調査で「節約している内容」の自由回答であった項目
「節約」を「している」「まあしている」回答者ベース
既婚女性全体 N=500

Q.あなたは「節約疲れ」を感じませんか？

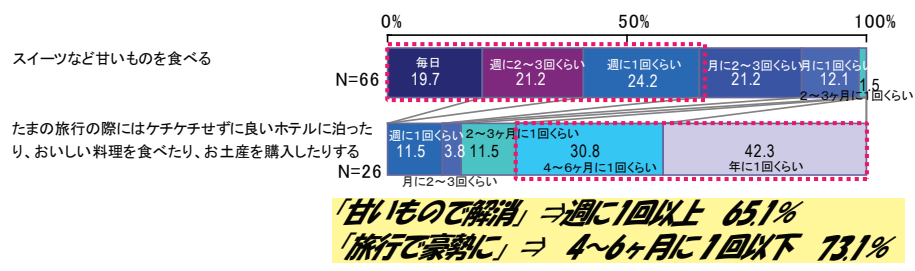


Q.あなたが普段している「節約疲れの解消」はなんですか？

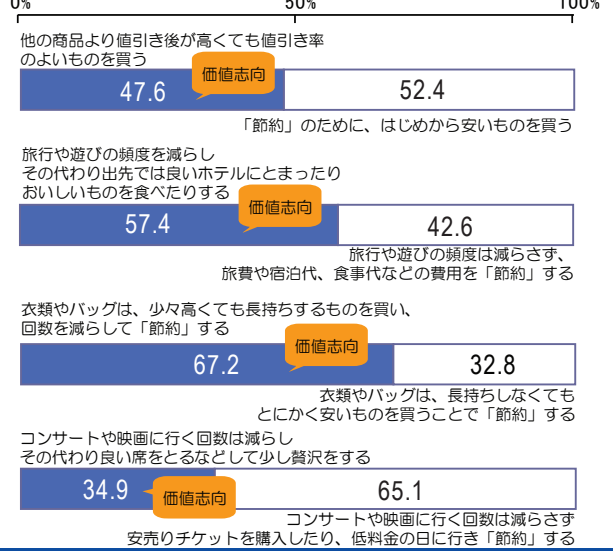


※2009年1月度調査で「節約疲れ解消法」の自由回答であった項目
「節約疲れ」を「感じる」「まあ感じる」回答者ベース
■「節約疲れ」解消法 N=231
■最もあてはまる「節約疲れ」解消法 N=213

Q.あなたの最もあてはまる「節約疲れの解消」はどのくらいの頻度ですか？



Q.「節約行動」であてはまるのはどっち？



モニター：1都3県(東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県)に居住する16-59才男女計1085S
(ジャストリサーチサービスオリジナルモニター) ※本結果サマリーは既婚女性613Sのもの
実施時期：2009年2月27日～3月2日